



ENGLISH DEBATE 2022

～積極的安楽死について考えてみよう～



自主活動

実施日:2022年12月12日, 12月19日
 実施場所:昭和キャンパス保健学科中央棟 3階 4番教室
 リーダー:医学部 保健学科 検査技術科学専攻2年 仲丸優香
 理工学部 物質・環境類2年 篠原茉緒(副)

1. 概要

本企画は「日本国は、本人の意思による積極的安楽死を導入すべきである。是か非か。」をテーマとした即興型ディベートである。積極的安楽死が合法化されていない日本と合法化されている海外の制度や症例を踏まえて、論理的に、GFL生らしいグローバルな視点をもって英語でディベートを行った。この議題に対するディベートを行うことにより、これまで触れてきていないテーマに触れて各々の知見を広げ、自己の能力向上を図るとともに、多くの学生に英語ディベートを経験してもらう機会を設けることができた。第1回目にディベートの準備、第2回目に実際に英語ディベートを行った。各チームのディベートについては先生方4名とオーディエンス参加の学生からジャッジをしていただいた。

2. 目的

群馬大学の全学部の学生および留学生を対象に、英語ディベートを通してこの課題に取り組むことで、下記を得ることを目的とした。

1. 海外の医療事情と日本の医療事情について比較し、それぞれの問題点について双方に理解する。
2. 英語で自分の意見を述べ、相手に伝える能力の向上。
3. 日本の医療が抱える問題に対する論理的、多面的な視点や思考の向上。
4. 日本人学生のみならず留学生とも意見を交換することで、多岐にわたる視点について理解し、日本人学生だけでは得られないグローバルな視点について双方に共有する。
5. 立案に際し、英語文献を通して学ぶことで海外の医療事情について詳しく知る。さらに、この企画を通して多くの学生に英語ディベートの楽しさについても感じてもらい、今後もディベート関連行事に参加する意欲を掻き立てることも目的とした。

3. 活動内容

第1回目:12月12日

1)開会の挨拶・企画の説明

企画者による英語ディベートのルールや議題の定義や補足情報についての説明を行った。

2)企画参加者の自己紹介

英語ディベートは3人1チームで行うため、参加者の交流を目的とし自己紹介を行った。加えて、ディベートにむけてのポジション決めを行った。

3)第2回に向けた立論作成

次回の英語ディベート本番に向けてチームごとに立論作成を行った。それぞれのチーム内で賛否両論あったが、論理的で熱い意見交流をしている様子が見受けられた。

第2回目:12月19日

1)試合

第1回目でチームごとに作った立論を使って英語ディベートを行った。積極的安楽死に対して肯定、否定の意見に分かれて、どちらも論理的な議論がされた。お互いの立論を知らない状態で英語を使ってディベートするため、難しいところも多かったと思うが、チーム内の自分のポジションを理解し、活発なディベートが行われていた。各サイドで以下の意見がでた。

肯定側:痛みを取り除くことができる。家族の負担を減らすことができる。

否定側:法の乱用が起きる。医療の進歩を妨げる。

2)ジャッジ・観客からの判定、総括

今回はジャッジとディベーターだけでなく、聴衆にも英語ディベートを楽しんでもらうためにジャッジだけではなく聴衆にも投票をしていただいた。結果は6-4で肯定側の勝利だった。その後、ジャッジを務めてくださった、保健学研究科 齋藤貴之先生、大学教育センター ネウパネ プラミラ先生、国際センター 陳雲蓮先生、大学院理工学府 神成尚克先生に総括をしていただいた。ジャッジの先生方が悩んでしまうほどに肯定側、否定側のどちらも有意義な意見であった。

4. 総括

本企画では、ディベート企画に参加する前と後の安楽死に対するイメージについてのアンケートも実施した。総じて否定側に転じた学生が多く、社会的状況や倫理的配慮などが不十分であるという点で、安楽死の完全合法化には日本の現状として至らないという意見が見受けられた。しかし安楽死の導入自体への完全否定ではなく、安楽死の選択は患者の金銭的・心理的負担による苦痛からの開放を意味し、生きる権利と同様に存在すべき権利であるという肯定的意見も議論には存在した。

また本企画では、留学生の意見を交えた議論も行う予定であったが、残念ながら今回はディベーター参加の留学生が不在で聴衆側のみでの参加であった。しかし、日本人学生のみではあったものの海外の文献に基づいた議論により、少なからず国際的事情を取り入れた議論を行うことができた。今後のディベート関連行事の発展により、より多面的視野を取り入れた、国際色豊かな議論になることを期待する。

表1 スケジュール

日時	内容
12月12日	
18:15-18:35	開会の挨拶 企画、英語ディベートの説明
18:35-18:45	企画参加者の自己紹介
18:45-19:10	第2回に向けた立論作成
19:10-19:15	質疑応答、閉会の挨拶
12月19日	
18:15-18:20	開会の挨拶
18:20-19:00	ディベート試合
19:00-19:10	ジャッジ・観客からの判定、総括
19:10-19:15	閉会の挨拶



図1 立論作成の様子



図2 ディベートの様子



図3 ディベートの参加者

5. 謝辞

今回の企画は多くの人の協力があって実現することができた。ディベート参加者、ジャッジをしてくださった先生方、オンラインを繋いでくださった事務の皆様、協力していただいた皆様に感謝申し上げます。